

【がん化学療法レジメン】

宮崎県済生会日向病院 2024 年 12 月 1 日改訂 《無断転載禁止》

対象疾患	適応	レジメン名	コース期間	総コース数	催吐リスク
大腸癌 (RAS野生型)	■進行・再発 ☐ 術前補充療法 ☐ 術後補助療法	Pmab+CPT-11療法	14日間	規定無し	中

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	day													
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
①	デキサート パロノセトロン 生理食塩液	6.6mg 0.75mg 100mL	点滴静注	20分	↓													
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	10分	↓													
③	ベクティビックス 生理食塩液	6mg/kg 100mL	点滴静注	60分	↓													
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	10分	↓													
⑤	イリノテカン 生理食塩液	150mg/m ² 250mL	点滴静注	90分	↓													
⑥	生理食塩液	50mL	点滴静注	10分	↓													

《注意事項・備考》

・ Pmab：皮膚障害に対してミノサイクリン200mg/day内服+ヘパリン類似物質クリーム/ローション適宜（適宜ステロイド外用剤使用を考慮）
・ 制吐療法：悪心嘔吐状況に応じてアロカリス点滴静注235mg投与を考慮、投与の際はデキサート3.3mgへ減量とする